

ゆし! のひろげ



宮古島市教育委員会
広報誌

第8号

2013/10/4 発行

個性豊かな文化をはぐくみ、一人ひとりが輝く島

特集 みんなで育てよう 元気にsmile地域の輪



少年団体リーダー研修会（通り池）



CONTENTS

- ◆宮古島市交流事業
中古車の仕入れを実際に体験！
- ◆「夢実現助成事業成果報告」
ニュースポーツ体験教室
- ◆「ファミリーバドミントン」
平成25年度
- ◆教育委員会定例会・臨時会開催状況
- ◆TOPICS ◆わだいの広場



連載1

パニパニ☆スクール

- ◆佐良浜中学校
「カツオの一本釣り・
カツオ節作り体験」



連載2

文化財を巡る

- 宮古島市2件目の国登録有形文化財
- ◆「旧西中共同製糖場煙突」



人づくりが
地域づくりにつながる！

みんなで育てよう！ 元気に Smile 地域の輪



「人づくり・地域づくり・絆づくり」

社会教育のもつ役割は「人づくり」「地域づくり」「絆づくり」にあるといえます。少子高齢化や情報化の進展等で社会情勢が大きく変化する中、地域が抱える課題は多様化・複雑化しています。また、過疎化や核家族化などで地域の諸活動の担い手は年々減少傾向にあり、地域社会の形成を担ってきた社会教育関係団体の活動も困難になりつつあります。

そこで、市教育委員会では地域住民や、社会教育団体の活動支援と育成のため、学習の機会を提供することで組織を越えた活動の充実を図っていかうと研修会等の取組みを行っています。

「人づくり」から「地域づくり」へ、そして地域や住民の「絆づくり」へと広げ、みんなで育てる「地域の輪」を広げていきましょう。

生涯学習・社会教育に 関する主な取組み

- 社会教育委員会議の開催(年4回)
- 海外ホームステイ派遣事業(高校生)
- 社会教育関係団体を対象にした研修会
 - ★社会教育団体全体研修会(6月・9月・11月)
 - 第2回宮古島市社会教育団体研修会を11/24(日)に計画。テーマ「地域の防災」。
 - ★少年リーダー研修会(8月)
- 学校支援地域本部事業
- 放課後子ども教室推進事業
- リーダーバンク事業
- 沖縄県公民館研究大会 宮古島大会 11/22(金)

社会教育委員会議

10名の社会教育委員により年4回開催されています。本年度はすでに5月・9月に開催され、本年度事業やリーダーバンクの登録などについて協議しました。

社会教育委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験のある者の中から本市教育委員会が委嘱しています。

社会教育団体

ってなに？

公の支配に属さない自主・自立した団体で、社会教育に関する事業を行うことを主目的にする団体です。社会教育事業とは、市民の学習活動・体育レクリエーション活動などを言います。市内には、子ども会育成連絡協議会、青年団協議会、婦人連合会、PTA連合会などがあります。



特色のある事業紹介

宮古島市社会教育団体 研修会・ワークショップ

日頃からそれぞれで活動している社会教育団体のみなさんが集い、地域づくりをテーマに研修会を開催しています。11月24日(日)には、コミュニティの充実を図るため「地域の防災」についての研修会を予定しています。

研修会

地域のつながりを深めていくと、今年度から新たな体制づくりとして全体研修会を開催。「自慢できるうまり島」をテーマに住みよい宮古島になるよう意見交換を行いました。



ワークショップ

社会教育団体(子ども会、婦人会、青年会、老人クラブ、PTA連合会)が組織を越えて一緒に行動することで、地域のために何ができるのかを話し合いました。



社会教育団体の活動

「第1回みや子リンピック」開催！

7月21日(日)に市子ども会育成連絡協議会が主催となって、「第1回みや子リンピック」を開催。94名の子どもたちが参加し、スリッパ飛ばし&飴リレー、ボール取り合戦、紅白玉入れの3種目で熱戦を繰り広げました。

「第49回ふるさとエイサー祭り」に28年ぶりに参加！

9月7日(土)に那覇市で行われた「第49回青年ふるさとエイサー祭り」に、市青年団協議会の働きかけにより、28年ぶりに宮古島から川満棒踊り保存会が参加。「川満の棒踊り」を披露しました。

第47回婦人の大演奏会に市青年団協議会が協力

6月2日(日)に開催された「第47回婦人の大演奏会」にて、初めて市青年団協議会の役員がスタッフとして協力。他団体による協力はこれまでになく、社会教育団体のヨコのつながりに期待できそうです。

少年団体リーダー研修会

各地区で活躍している子ども会のリーダーが集まり交流を深めるとともに、研修を通じてリーダー自身の資質向上と子ども会活動の活性化を図ることを目的に毎年1泊2日で開催しています。今回は19名の子どもたちが参加し、ミステリアスウォークラリー・クッキングや伊良部探索を行いました。



ウォークラリー・クッキングや伊良部探索を行いました。

ミステリアスウォークラリー・クッキング

班で指令をクリアしなければ、欲しい食材がGETできない?! 確保した食材でメニューを考え、おいしい夕飯作り。



みんなで作っておいしく!

伊良部探索

下地島空港、通り池やサバウツガーなど見学し、シーカヤック体験で伊良部島の自然を感じながら歴史を学びました。



生涯学習フェスティバル

広く市民に対し学習活動の成果発表の場や学習情報を提供することにより、市民一人ひとりの生涯学習への意欲を高めると共に、学習活動への参加を促進し、生涯学習の一層の振興を図ることを目的に開催しています。

今年も開催します!

第9回 生涯学習フェスティバル

平成25年11月16日(土)~17日(日)

時間 午前10時~午後5時

場所 中央公民館



ステージパフォーマンス 舞台発表

野外ステージでは募集したパフォーマーがフェスティバルを盛りあげ、大ホールでは公民館講座の成果などを披露。今回は、「雷神ミエルカ」がやってきます! 雷神ミエルカといっしょにおどろう!

体験コーナー キッズコーナー

理科実験やロボット体験などさまざまな体験ができるコーナーを多数開設。



【講演会】11月16日(土)午後3時30分

講師: 平田大一氏 「文化でおこす、人と地域と未来のよなし」

沖縄県小浜島生まれ。大学生の頃から「南島詩人」を名乗り、詩、笛、太鼓、三線、舞を駆使して1,000校を超える学校講演を実現。「教育で地域を、文化で産業をおこす」社会起業家として幅広い層から多くの支持を集める。「(公財)沖縄県文化振興会」のアドバイザーとして「沖縄文化の司令塔役」に徹する一方、文化に軸足を置いた、新たな地域活性化のモデルづくりのトッランナーとして更なる挑戦を続ける。

夏の宮古島で交流事業！下地中学校は台湾を訪問！

宮古島市交流事業

本市では、児童・生徒間交流事業を行っており、この夏は新潟県上越市板倉区、岐阜県白川町の児童の皆さんが宮古島を訪れました。宮古の自然や文化、歴史を学び、お互いの交流を深めました。今年で13回目の訪問となった下地中学校・台湾交流事業で台湾を訪問した様子も紹介します。

人頭税廃止に尽力した中村十作の功績を後世に引き継ごうと、中村氏の出身である新潟県旧板倉町との交流を平成5年より行っています。今年も8月22日から3泊4日の日程で、児童交流団として8名の児童(小学6年生)及び3名の引率教諭が来島し、新城ビーチや市総合博物館を訪問。また、城辺地区の児童宅にホームステイをするなどし、お互いの交流を深めました。



新潟県上越市板倉区 城辺地区 **児童交流事業**
8月22日～8月26日



岐阜県白川町の5つの小学校より児童25名(引率6名)が体験交流事業のため来島しました。宮古青少年の家で宿泊し、水中観光船や星座観察、貝細工で作品づくりを行いました。白川町の児童は「海の中はとてもきれいで、工作で使った貝殻やサンゴは岐阜では見たことがない」と色とりどりの貝殻に触れて満足した様子でした。自然を満喫したほか、博物館や雪塩工場、人頭税石等を見学し、宮古の歴史や文化も学びました。最終日には下地敏彦市長を訪ね、交流事業の活動報告や宮古の自然や文化について質疑応答も行いました。

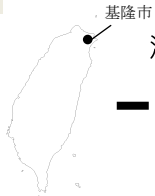


下地中学校の生徒10名(引率4名)は、台中にある姉妹校・漢口国民中学校との交流を行いました。熱烈的な歓迎を受け、表敬訪問した本市の姉妹都市である基隆市でも張通栄市長があたたかく迎え入れ、さらなる交流発展に期待を寄せることができました。

ホームステイ先では、受け入れ家族とホームパーティーで過ごすなど交流を深めました。台湾交流事業は、今年で15年目で13回の訪問となりますが、毎回国際感覚を身につけ、外国語の大切さを実感し多くの貴重な体験を得ることのできる交流事業となっています。



岐阜県白川町 下地地区 **海・山交流事業**
8月6日～8月8日



基隆市 漢口国民中学校 下地中学校 **台湾交流事業**
8月1日～8月6日

報告 夢実現助成事業

昨年度から実施されている夢実現助成事業。今回は、平成24年度模範生徒として表彰された花城怜音くん(鏡原小6年)が、8月7日～8月10日の3日間、期待や夢に胸を膨らませ、大阪府大阪市・松原市と沖縄県浦添市に行ってきました。花城くんの「夢」は「自動車販売という家業を継ぐこと」です。そこで、この夢実現助成金を利用し、中古車の仕入れを実際に体験してきました。

夢実現助成事業って?

本市教育委員会では、平成24年度から本市児童生徒の人材育成及び教育指導者等の資質向上を図ることを目的として、「宮古島市教育の日」に表彰された者を対象に「夢実現助成事業」を実施しています。一人あたり30万円以内の助成金を交付し、自らプログラムした視察研修を実施してもらおうという制度です。

～中古車オークション体験の旅～

8月7日 大阪府大阪市にある中古車オークション会場(ベイ・オーク)にて仕入れ体験。



8月8日 大阪府松原市にある中古車オークション会場(ハナテン)にて仕入れ体験。別会場にて憧れのフェラーリを見学！

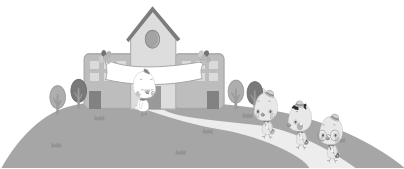
8月10日 浦添市にある新沖縄スバルにて販売や整備など各部署を見学。新型XVハイブリッドにも試乗。

花城くんの感想文(※一部抜粋)

僕たちの生活に車は必需品です。しかし、テレビや新聞でよく車事故を目にします。これから先、車は進化を続け事故を未然に防ぎ、安全で快適な生活ができると思います。僕が社長になる頃にはどの様な車が走っているのか楽しみです。



↑オークション会場「ベイ・オーク」にて、実際にセリを体験！



パニパニ☆スクール

佐良浜中学校

SARAHAMA JUNIOR HIGH SCHOOL

佐良浜中学校では、総合的な学習の一環として「カツオ一本釣り・カツオ節づくり」体験を行っています。そこで、今回は総合的な学習の夏の日を紹介します。

島の伝統を体験する カツオ一本釣り カツオ節作り体験



佐良浜中学校では、総合的な学習の一環として、本格的な「カツオの一本釣り」を行っている。船主さん達の協力を得て、漁師さん達が漁をする実際の漁場で「カツオの一本釣り」を行うのだ。教育委員会伊良部分室と伊良部漁協のバックアップがあり、行えている体験である。

男生徒は、夕方、各漁船の船長さんたちと顔合わせを行い、その日の真夜中に出港する。暗い中、それぞれの割り当て漁船に乗り込み、パヤオ近海の漁場を目指す。漁場までは、約4～5時間、明け方近くに漁場へ到着する。その間、生徒たちは船酔いとの戦いをする。ほとんどの生徒たちにとっては、漁船で外洋にこぎ出すことは初めての経験で、ここで自分が船に強いかどうかの判断をするきっかけとなる。格好いいとばかり言うてはられない。激しく船酔いする者、平気な者、はっきりと分かれる。

しかし、漁場については、船酔いの生徒達も竿を握り、本物の漁師たちにまじって一本釣りをを行う。竿がしなりカツオが釣れる頃には船酔いも忘れかけている。男生徒たちにとっては、「カツオ一本釣り」

は、とても貴重な体験だ。生徒達が、総合的な学習の時間以外では、島の経済・島の生活をささえてきた「カツオ一本釣り」を体験することはそうない。昔は島の多くの男たちが「カツオ一本釣り」で家族を養ってきたが、今はそうではない。だから、この体験は貴重なのだ。そして、一本釣りの竿の感触は大人から子供たちへと伝えられる。

男生徒が一本釣りなら、女生徒は「カツオ工場」で「カツオ節作り体験」を行う。カツオがさばかれ、湯の中に入れられ、骨を抜き、形を整えられ、なまり節やカツオ節となる工程を体験するのだ。銀色に光るカツオの腹が割かれ、はらわたを抜き出され、二枚に下ろされていく。水蒸気が立ちこめる工場で骨抜きをし、形を整えていく。はらわたをぬいていく作業でも、子供たちは文句を言わない。自分たちの祖母、祖父、両親たちがこのカツオで生活を立ててきているのを知っているからだ。これが佐良浜中学校の3年の「総合的な学習」の夏の日の一である。

(文・佐良浜中学校
前里恵子教諭)



ニュースポーツ体験教室(宮古島市スポーツ推進協議会主催事業)

宮古島初上陸

ファミリー バドミントン



8月7日(水)～9月11日(水)
(全4回)に、市総合体育館アリーナにおいて「市民が気軽に楽しめるニュースポーツを体験する場を提供する

こと、市民の健康増進・体力向上に寄与すること」を目的にファミリーバドミントンの体験教室を開催しました。このファミリーバドミントンは、昨年10月に友好都市・藤枝市(静岡県)のスポーツ推進委員が来島した際に、藤枝市より紹介されたニュースポーツ(発祥地/京都府長岡京市)です。

教室には、家族で参加した市民が多く、ファミリーの絆を深めながら、新しいスポーツにチャレンジしていました。この競技は、ラケットのシャフトが

短くなっており、初心者でも打ちやすく、スポンジボールに羽根がついているのでラリーが続きやすいのが特徴です。

宮古島市スポーツ推進協議会では、大会開催も視野に入れた普及活動を展開していく予定です。各学校や、地域より体験教室の依頼があれば、地域のスポーツ推進委員を派遣することも可能です。授業や学校行事、地域行事などに取り入れてみてはいかがでしょうか。



ラケット&ボール



試合の様子



参加者とスポーツ推進委員

「旧西中共同製糖場煙突」－宮古島市2件目の国登録有形文化財へ－

二〇一三年六月二十一日、城辺字西里添に所在する「旧西中共同製糖場煙突」が国の文化財登録原簿へ登録されましたのでご紹介します。

西中共同製糖場跡の煙突は、一九四二（昭和十七年）に設立された西中共同製糖場跡地に残存する煉瓦造の古煙突です。

西中共同製糖場の建設にあたっては、西中部落、西西部落の農家百数名で組合を結成し、工場の建築資材は組合員が平良の漲水港から運び入れるなど並々ならぬ力を注いだと言います。特に、ボイラーの運搬に際しては、かなりの重量であったため特注の荷馬車を造り、馬二頭に交代で引かせて運んだとのこと。

施設は二、三回の操業後、太平洋戦争による旧日本軍の強制接収にあつて日本兵が駐屯したため操業中止に追い込まれ、戦後は使用されることはありませんでした。

古写真によると切妻屋根の建物が五、六棟写っており、いずれもセメント瓦葺きですが、これらの瓦は全て建築現場で製造したものであるとの記録が残っています。また、象徴的な煉瓦造の煙突は当初、高低二本あつたことが伺え、二十メートル近くもあつたと言われる高いほうには「西中共同製糖場」の文字を読み取ることができますが、空襲時に米軍

機のロケット砲弾で

損傷された後に台風

で上部が崩れ、燃焼

室を含む約十三メー

トルが現存していま

す。現況は、記載さ

れていた文字はかす

かに痕跡が残るのみ

で文字を読むことはできません。

一九六〇年頃、地域生活環境の安全確

保のために、弾痕による損傷の激しい古

煙突撤去の動きがありました。工場設

立に苦心した中村清一郎（昭和三、五年

まで城辺村長）の業績の記念の一つとし

て未永く保存しようということになり、

現在に至っています。

以上のように西中共同製糖場跡の煙突

は、宮古島における製糖業とその変遷を

知ることができる建造物であり、登録有

形文化財登録基準の建造物の部「一・国

土の歴史的景観に寄与しているもの」に

該当するものと価値付けされ、国の登録

文化財となりました。

今回の登録は、沖縄県の登録有形文化

財としては七十六件目であり、宮古島市

においては平成十九年三月の「大野越排

水溝」に続き二件目となります。

今後も登録件数を増やし、本市の貴重

な文化財の保存・活用を図っていきたく



図書 ぴり

平良図書館

第1回「納涼 おばけ祭り」



夏休み真っ盛りの8月10日（土）午後7時から市立平良図書館児童室で「納涼～おばけ祭」を開催しました。約150人の親子連れのみなさんがわくわくで待ち受ける中、オープニングから子ども達の「ギャー！！」「こわいよ」の悲鳴がサ・ワ・レ・ツ！ なっなんとゲゲゲの鬼太郎、目玉おやじ、ちょうちんおばけがやって来た！ それにはるばると海を渡ってドラキュラも、そして何故か鉄腕アトムまで…アトムと握手したいのに目玉おやじが邪魔をする。ドラキュラが血を吸おうと襲ってくる。



怒濤のオープニングから一転、真っ暗な中、静かにブラックシアター「もちもちのき」の幕開け。心を落ち着けて、光

と物語に引き込まれる子どもたち。最後は、身の毛もよだつ「こわ～いおはなし」。閉幕後は、移動図書館車の本を手に「ハア～こわかった」と帰路に着きました。

寄贈

市内小中学校などに
「宮古島の民話百選(上)」を寄贈

んきゃん塾を主宰するさどやませいこさんより市内小中学校及び平良図書館北分館、城辺図書館に「宮古島の民話百選(上)」の寄贈がありました。この本は、30年前に島のお年寄りたちから伺った「んきゃんばなす」をまとめたものです。この機会に、宮古島の民謡にふれ、読み聞かせなどにも活用して、民話の世界を子どもたちの想像力に活かしていただけたらと思います。



TOPICS

平成25年度

海外ホームステイ派遣事業

ハワイ州でいき英語学ぶ!

8/18日 ~

8/30金

8月18日(日)~30日(金)の約2週間、市内中高生18名(中学生12名・高校生6名)が市海外ホームステイ派遣プログラムで、ハワイ州オアフ島・マウイ島へ派遣されました。

オアフ島では、ハワイ東海大学での語学研修や野外研修を通して、英語のみならず移民の歴史や平和について学びました。また、本市姉妹都市・マウイ島では、



↑ハレアカラ山頂

ホストファミリーとの英会話、異なる生活習慣を体験する中でコミュニケーション能力を培うことができました。それぞれの研修先で温かい歓迎を受けた生徒

外国語指導助手(ALT)へ委嘱状が交付されました

8/14水

8月14日(水)に城辺庁舎にて、平成25年度宮古島市外国語指導助手(ALT)の5名へ委嘱状が交付されました。5名のALTは、市内小中学校にそれぞれ配置され(小学校3名・中学校2名)、外国語活動や英語の授業支援を行います。また、ALTは子どもたちや地域の方々へ各々の国の文化や魅力を紹介し、お互いの文化交流や国際理解を図るといった大切な役割も担っています。

2学期より新しく赴任した2名を含む全員が、子どもたちの英語力向上のため、「宮古島の子ども達にいろんな文化を伝え、楽しく英語に触れてもらいたい。しっかり頑張りたい」と張り切っています。



↑2学期より赴任し、抱負を述べるルカス・ラブランテさん。

ALTのみなさん

■ カイル テロー(カナダ)
 ■ 中学校(8校)
 北・久松・西辺・狩俣
 池間・城辺・佐良浜
 伊良部

■ ルカス ラブランテ(カナダ)
 ■ 中学校(8校)
 平良・鏡原・西城
 福嶺・砂川・下地
 来間・上野

お帰します!

■ アディリティア
 ナイラティカウ(フィジー)
 ■ 小学校(7校) 北・東・鏡原
 宮原・狩俣・池間
 伊良部

■ ナイジェルンガン(ニュージールランド)
 ■ 小学校(6校)
 平一・南・城辺・福嶺・下地・来間

■ ギャリー スアン
 (アメリカ・ハワイ)
 ■ 小学校(7校) 久松
 西辺・宮島・西城・砂川
 上野・佐良浜



たちは、ハワイのアロハスピリットを肌で感じながら、楽しく充実したホームステイ派遣プログラムを終えて全員元気に帰島しました。

9月13日(金)に中央公民館で行われた報告会では、それぞれの思い出深いトピックについて発表し、「スクール体験した高校には多くの人種が通っていて、2カ国語話す生徒もいて驚いた」、「ホストファミリーに誘われてハワイで初めて盆踊りに参加した」などホストファミリーとの休日や野外研修などの体験を紹介しました。中には英語で発表する生徒もあり、充実したプログラムを過ごした様子があがりました。引率の宮本陽子さんから「毎日書くジャーナルからも日々成長していく生徒の様子が伝わった」と生徒の成長を実感していた様でした。



写真で派遣プログラムを振り返るギャリー先生(左)。元気に報告する下地中・下地由莉奈さん(右)

引率:宮本陽子氏(WUB宮古)、ギャリー・スアン氏(ALT)

第3回子ども博物館 葉脈標本作り

8/17土 ~ 8/18日

市総合博物館では、8月17日(土)・18日(日)に「子ども博物館」第3回講座を開催し、子どもたちが自分で採取した葉を使って葉脈標本を作成しました。

子どもたちは、フロッタージュで浮き出た葉脈に歓声をあげ、パイプ洗浄液での実験では、葉っぱが白く透明になっていく様子を興味津々に観察していました。また、根気のある重曹を使った実験では、一生懸命取り組んでいる姿が印象的でした。

今回の講座で学んだ失敗や楽しさが、子どもたちの自然や実験に対する興味や関心を深めるきっかけとなるものと期待しています。

葉脈標本ができるまで

1 葉っぱを採取しよう



2 フロッタージュ 実験①



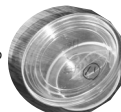
紙の上から採取した葉っぱをこすってみる。どんな葉脈が浮か上がってくる?

3 重曹を入れて、葉っぱを煮てみよう 実験②



4 パイプ洗浄液につけてみよう 実験③

先ほどの葉脈だけのこった葉っぱをつける
と...なんと透明に!



5 好きな色をつけて、完成!

煮込んだ葉っぱを取り出し、ブラシで葉肉を落とすと...葉脈だけが残る。標本の完成が見えてくる!



第25回企画展

美ぎ布展～苧麻糸が繋ぐ伝統の技～

市総合博物館では、7月27日(土)～9月1日(日)の期間、第25回企画展「美ぎ布展～苧麻糸が繋ぐ伝統の技～」を開催しました。本企画展では、宮古上布をテーマに博物館収蔵の宮古上布の着物や反物の他、各協力団体及び個人所蔵の宮古上布などを展示公開し、宮古上布の歴史や高機が導入される以前に使用されていた地機、そして、宮古上布に欠かせない糸作りについてパネルにまとめ紹介しました。

また、8月11日(日)には関連行事として、仲間伸恵氏(琉球大学教育学部 講師)による「地機の講演会・実演会」が開催され、地機とは何か、宮古の地機の特徴などを説明していただきました。仲間氏による地機の実演では、参加者も実際に地機を使った織りを体験しました。



平良第一小・津山市立南小 姉妹校交流50周年記念式典

平良第一小学校では、8月26日(月)に、岡山県津山市立南小学校から、児童・職員・保護者38名の第10次交流団を迎えて、姉妹校交流50周年記念式典・祝賀会を行いました。祝賀会には、当時小学生で津山市を訪問した卒業生や保護者として同行した方なども参加し、津山市の皆さんと思い出話を花を咲かせていました。交流団の皆さんは、2泊3日で宮古島観光を行い、来年1月に津山市へ訪問予定の平良第一小学校の児童27名も参加し、交流を深めていました。

青い海、
気持ち～い！



平成25年度 教育委員会 定例会・臨時会の開催状況

第4回(7月25日)、第5回(8月15日)定例会教育委員会が開催され、伊良部B&G海洋センター条例を廃止する条例、市立学校設置条例の一部を改正する条例、市立体育施設の設置及び管理に関する条例の議案提出依頼等が審議・可決されたほか、文化ホール運営委員会委員の委嘱について審議が行われました。

また、第3回臨時会(9月2日)では、来間島の未来を考える会他4団体から提出された「来間中学校を廃止するための市立学校設置条例の一部を改正する条例の議案提出依頼を取り下げをお願いする旨の要請」についての取り扱いを審議した結果、取り下げはせずに議会にその是非を問うということを確認し、決定しました。

平成25年度 宮古地区教育委員会協議会 定期総会・研修会

宮古地区教育委員会協議会定期総会・研修会が8月8日(木)に多良間村役場で開催されました。

定期総会では平成24年度の歳入・歳出決算及び今年度の事業計画・予算計画が承認され、研修会では、豊見山正氏(ツーリズムたらま代表)が多良間村の生い立ちや文化等について講演を行いました。その他、八重山遠見台、運城御嶽等の文化財を視察し、多良間村の歴史について見聞を広めました。



10月・11月の行事予定

- 第8回宮古島市民総合文化祭(児童・生徒の部)
書道・美術・文芸・自由研究展
10月19日(土)20日(日)／中央公民館
音楽祭11月2日(土) 郷土の民話大会11月10日(日)
- 第7回博物館講座「発掘調査速報」
10月12日(土)／総合博物館
- 第4回子ども博物館「宮古の水を考える」
10月6日(日)／総合博物館
- 特別展示 文化の日「新収贈品展」
10月23日(水)～11月10日(日)
- 第9回宮古島市生涯学習フェスティバル
11月16日(土)17日(日)
- おはなし会 平良／毎週土曜日 城辺／第1日曜日

編集後記

本号は、これまでの広報誌作りの中でも驚くほど載せた記事があり、記事のレイアウトにすごく悩みました。特集で紹介された「生涯学習フェスティバル」私も来月参加してきます！
編集担当：教育総務課

市総合体育館・陸上競技場利用スケジュール

市総合体育館

H25.9.26 現在

- 10/5(土)6(日) クラブカップハンドボール
「第10回全宮古中学秋季ハンドボール大会」
「第10回全宮古中学秋季ハンドボール大会」
- 10/13(日) パタフライ杯ダブルス卓球大会
- 10/27(日) 9人制バレーボール選手権大会
- 11/2(土) 平成25年度就学時健康診断視力・聴力検査
- 11/10(日) サンライ杯シングルバドミントン大会
- 11/17(日) ふれあいラージボール大会
- 11/23(土)24(日) 第31回ミニバスケットボール冬季大会
- 11/30(土) 第9回全宮古ジュニアバスケットボール大会

陸上競技場

- 10/5(土) 第51回全宮古中学校陸上競技大会
- 10/6(日) 中体連県陸上代表選考記録会
- 10/12(土) 平成25年度高校駅伝大会
- 10/12(土)13(日) 第68回全宮古陸上競技大会
- 10/17(木)～19(土) 第55回沖縄県中学校陸上競技場
- 10/20(日) 第4回エコアイランド宮古島マラソン
- 10/25(金)26(土) 第24回全宮古小学校陸上競技大会
- 11/2(土) 第43回男子第30回女子全中学校駅伝大会

※ 施設使用の詳細は、市民スポーツ課までお問い合わせ下さい。
市民スポーツ課 ☎73-4469 (月曜休館)